

2020年5月 尚徳福祉会 末長こぐま保育園

風薫る五月の爽やかな空の下、登園している子ども達の笑い声がだんだんと大きく響くようになってきています。

例年ならもっとたくさんの友だちとワイワイと過ごしている頃ですが、今年は登園自粛で少人数で生活をしています。友だちが少ないからこそ一人一人の存在や大切さに気付き、友だちについて考える機会が増えているようです。

ゴールデンウィーク明けは、生活リズムが整わず体調が崩れやすい時期です。思いっきり遊んだ後は十分に休めるようにして、元気に過ごせるようにしていきたいと思います。

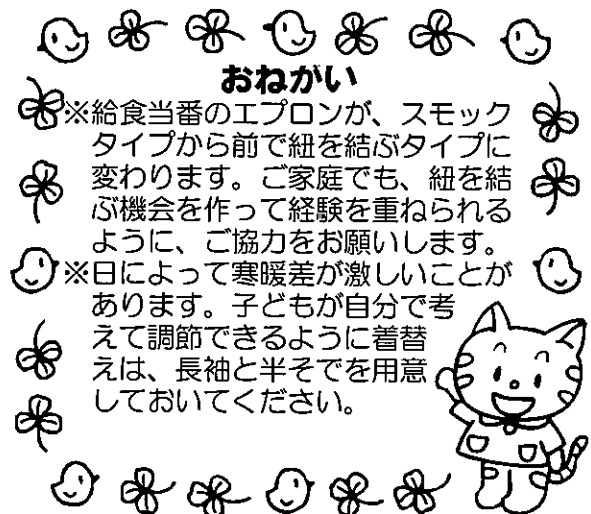
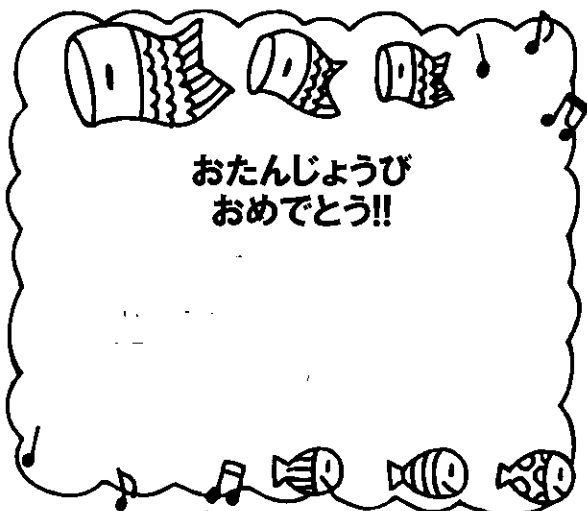


生活の様子

登園する子どもがいつもより少ないので、当番になる機会が増えています。大人なら『またか…』と思いがちですが、当番だと分かった子ども達は『やったー！』と歓声をあげて当番の仕事に励んでいます。『ありがとう』と言ってもらえることが嬉しいようです。『ありがとう』の機会を増やして、自分のしていることが役に立っていると実感できるようにしていきたいと思います。

あそびの様子

こおり鬼をよくしています。少人数になっているので『〇〇君は走るのが苦手だから、ゆっくり逃げるようにしよう』とか、『赤ちゃん組がいるから、あっちには行かないようにしよう』と、その時の参加メンバーのことを考えたり周りの様子に気を配ったりしたルールを子ども達で考えています。少人数だからこそ、互いに話し合う機会も増えて、楽しく過ごせる工夫をしているようです。



おねがい

- ※給食当番のエプロンが、スモックタイプから前で紐を結ぶタイプに変わります。ご家庭でも、紐を結ぶ機会を作って経験を重ねられるように、ご協力をお願いします。
- ※日によって寒暖差が激しいことがあります。子どもが自分で考えて調節できるように着替えは、長袖と半そでを用意しておいてください。